

クラウド化は もっとシンプルにできる。

オンプレ

クラウド

無駄のない大容量データアップロード
プラナスソリューションズの
クラウドデータインポートサービス

クラウド化プロジェクトを圧倒的にスリム化。
その先のビジネスに最速で辿り着くための
クラウドデータインポート

クラウドデータインポートサービス

データ移行

移行後の工程
運用準備

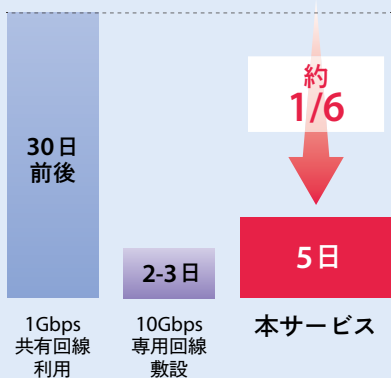
期間とコストを劇的に短縮

従来の方法

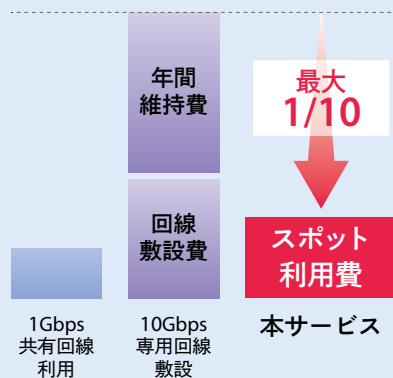
データ移行

移行後の工程
運用準備

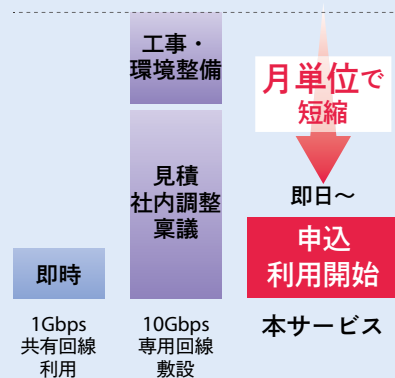
1 データ移行にかかる 時間※1



2 データ移行にかかる 費用※2



3 利用開始までの リードタイム※3



※1: 100TBのデータについて、転送開始から完了までの試算
inode数によっては時間がかかる場合がありますのでご注意ください

※2: データ移行にあたって必要な設備投資、利用料金等の合計

※3: 検討開始からサービス利用開始までの期間

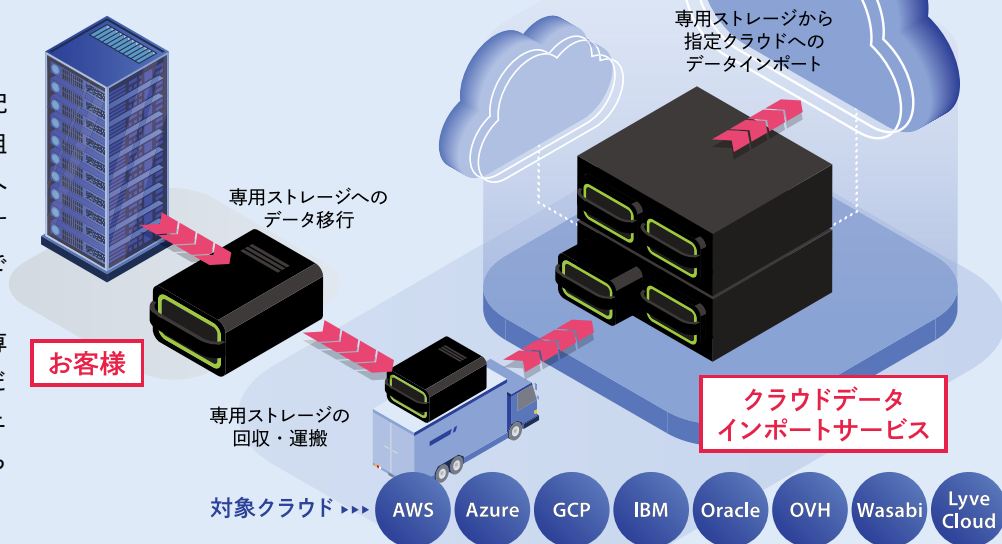
詳しいサービス内容や仕組みは裏面へ

プラナスソリューションズ クラウドデータインポートサービス

サービス概要

クラウドデータインポートサービスは、物理配送専用ストレージと10Gbps転送専用回線を組み合わせた、オンプレ環境からクラウド環境へ的大容量データ移行を最小限のコストで実現するハイブリッド形式のデータ転送サービスです。

お客様の作業はインポート先の情報の登録と専用ストレージへのデータのコピー、受け渡しだけ。あとは全て自動で完結するため、エンジニアの稼働や他の業務への影響も最小限に抑えられます。



クラウドデータインポートサービスが実現できること

1 利用開始から約1週間 短期間でのデータインポート

物理配送専用ストレージはお申込みから数営業日でお手元に到着。データコピー完了後、指定回収業者にお渡し頂き、2営業日後にはクラウドインポートが開始されます。最長3日程度で指定のクラウドサービスへ最大320TBの大容量データのアップロードが完了します。

2 スポット利用で 無駄なくクラウド化

たった1回、多くても年数回のデータ移行。従来の方法では専用回線の敷設や年間維持費も計画に入れる必要がありました。業務利用中の共用回線を使うとデータ転送に時間がかかり、他の業務の通信に干渉する可能性も。このサービスでは専用線の準備も共用回線の利用も不要。容量別の利用料だけでのスポット利用が大前提なので、最小限のコストでクラウド化を実現します。

3 リードタイムも調整業務も まるごと削減

従来のクラウド移行は、データ転送のためだけに高額かつ長期間のプロジェクトになる傾向があります。そのため、高額な費用の検討と稟議、他業務との調整など、人的コストの増加も避けられません。即日申し込みが可能、期間もコストも最小限にできるこのサービスは、プロジェクトにおけるすべての経営資源を最適化します。

ご利用の流れ



ご利用相談



在庫確認・見積



発注



ストレージ到着



利用開始

プラナスソリューションズとは

私たちプラナスソリューションズは、東証プライム上場企業のさくらインターネットのグループ会社です。「ハイパフォーマンスコンピューティング (HPC) ソリューションをもっと身近なものに」をモットーに2018年に設立いたしました。

HPCをはじめ、AI基盤の構築、クラウド・オンプレミスを問わない自由なシステム設計、大容量データの安全な移行・活用など幅広いソリューション・サービスを提供し、多くのお客様から好評いただいております。

 **Prunus-Solutions**
プラナスソリューションズ株式会社

📍 東京都新宿区西新宿 7-20-1 住友不動産西新宿ビル32階
☎ 03-4400-1155 (代表)

<https://www.prunus-sol.co.jp/>



さらに詳細を知りたい方は

▶ サービス紹介ページ

<https://www.prunus-sol.co.jp/solution/import-service/>



▶ お問い合わせ

✉ sales-info@prunus-sol.co.jp

パートナーも随時募集中